

NY マーケットレポート (2016年11月15日)

NY 市場では、序盤に発表された米小売売上高、NY 連銀製造業指数が市場予想を上回る結果となったことが好感され、米国の12月の利上げの可能性が意識されたことから、ドルは主要通貨に対して堅調な動きとなった。ドル/円は、一時109.34まで上昇し、6月2日以来の高値を付けた。また、原油や株価が堅調な動きとなったことから、クロス円も堅調な動きとなり、豪ドル/円は4月28日以来、ユーロ/円は7月22日以来の高値を付けた。また、英最高裁の裁判官が、「BREXITは最大2年遅れる可能性があるとの見解を示した」との報道を受けて、ポンドは一時主要通貨に対して上昇する場面もあった。なお、米株式市場では、ダウ平均株価が4営業日連続で終値ベースの最高値を更新した。

2016年11月15日 (火)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	108.13	108.44	107.81
EUR/JPY	116.48	116.53	116.09
GBP/JPY	134.91	135.54	134.74
AUD/JPY	81.63	82.01	81.54
EUR/USD	1.0776	1.0782	1.0735

LONDON	高値	安値
USD/JPY	108.40	107.79
EUR/JPY	116.93	116.41
GBP/JPY	135.11	134.20
AUD/JPY	81.91	81.57
EUR/USD	1.0817	1.0758

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	109.21	109.34	108.22
EUR/JPY	117.14	117.22	116.45
GBP/JPY	136.01	136.58	134.50
AUD/JPY	82.55	82.60	81.79
NZD/JPY	77.55	77.58	76.92
EUR/USD	1.0728	1.0770	1.0714
AUD/USD	0.7560	0.7566	0.7512

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	18923.06	+54.37
S&P500	2180.39	+16.19
NASDAQ	5275.62	+57.23
日経225 (CME)	17900	+200
トロント総合	14756.10	+157.66
ボルサ指数	45023.65	-282.83
ボベスパ指数	休場	

*ブラジル市場はRepublic Dayで休場

11/16 経済指標スケジュール	
08:30	【オーストラリア】10月ウエストバック先行指数
09:30	【オーストラリア】10月新車販売台数
09:30	【オーストラリア】3Q賃金コスト指数
11:00	【ニュージーランド】10月非居住者国債保有率
18:30	【英国】10月失業率
18:30	【英国】10月失業者数推移
18:30	【英国】9月ILO失業率[四半期]
19:00	【スイス】11月ZEW景況感調査
20:00	【南アフリカ】9月小売売上高
21:00	【米国】MBA住宅ローン申請指数
22:30	【米国】10月生産者物価指数
22:30	【カナダ】9月製造業出荷
23:15	【米国】10月鉱工業生産
23:15	【米国】10月設備稼働率
23:15	【米国】10月製造業受注
00:00	【米国】11月NAHB住宅市場指数
06:00	【米国】9月対米証券投資

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1224.50	+2.80
NY 原油	45.81	+2.49
CME コーン	349.25	+4.00
CBOT 大豆	989.50	+5.25

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.001%	0.988%
3年債	1.277%	1.261%
5年債	1.665%	1.654%
7年債	2.019%	2.012%
10年債	2.231%	2.238%
30年債	2.969%	2.995%
ドイツ10年債	0.308%	0.319%
英国10年債	1.379%	1.408%

11/16 主要会議・講演・その他予定	
・EU経済・財務相理事会	
・フィラデルフィア連銀総裁 講演	
・セントルイス・ミネアポリス連銀総裁 講演	

NY 市場レポート

22 : 05

◀ 要人発言 ▶

ローゼングレン・ボストン連銀総裁

- ・「失業がさらに減少すればオーバーシュートのリスク」
- ・「緩やかな引き締めが好ましい」
- ・「11 月 FOMC 声明は、12 月利上げの可能性と整合している」
- ・「利上げを長く待ち過ぎるリスクを考慮するべきだ」

22 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

10 月米小売売上高 (前月比) 0.8% (予想 0.6%・前回 1.0%)

前回発表の 0.6% から 1.0% に修正

10 月米小売売上高 [除自動車] (前月比) 0.8% (予想 0.5%・前回 0.7%)

前回発表の 0.5% から 0.7% に修正



出所 : Bloomberg

指標結果データ

◀ 米小売売上高 ▶

10 月・9 月・8 月・7 月・6 月・5 月・前年同月

小売売上高	0.8	1.0	0.0	0.1	0.7	0.2	2.1
除く自動車	0.8	0.7	0.0	-0.4	0.8	0.3	2.0
自動車・部品	1.1	1.9	0.0	2.0	0.5	-0.3	5.4
建設資材等	1.1	1.8	-0.6	-0.3	3.8	-2.6	6.5
食品・飲料	0.9	0.6	0.5	-0.4	0.1	0.2	3.7
総合小売店	0.4	-0.9	-0.6	-0.6	0.2	-0.5	-2.3
大規模小売店	-0.7	-0.8	-0.9	-1.3	0.0	-0.9	-7.3
無店舗小売店	1.5	0.9	0.5	0.7	0.1	1.8	12.9
その他小売店	2.4	2.0	-0.3	-0.1	-0.3	-1.2	9.5

(前月比%)

10月の米小売売上高は、前月比+0.8%の4659億1400万ドルとなり、市場予想の+0.6%を上回ったが、上方修正された前回からは伸びが低下した。前年同月比は+4.3%だった。また、変動が大きい自動車・同部品を除く売上高は+0.8%と、2ヵ月連続のプラスとなった。品目・業種別では、自動車・同部品が+1.1%、ガソリンスタンドが+2.2%、建材・園芸が+1.1%、食品・飲料が+0.9%となったが、家具・装飾は-0.9%となった。

22:30

◀ 経済指標の結果 ▶

11月ニューヨーク連銀製造業景気指数 1.5 (予想 -2.5・前回 -6.8)



出所：Bloomberg

経済指標データ

◀ NY連銀製造業景気指数 ▶

現状)

	11月	10月	9月	8月	7月	6月
業況	1.5	-6.8	-2.0	-4.2	0.6	6.0
仕入価格	15.5	22.6	17.0	15.5	18.7	18.4
販売価格	2.7	4.7	1.8	2.1	1.1	-1.0
新規受注	3.1	-5.6	-7.5	1.0	-1.8	10.9
出荷	8.5	-0.6	-9.4	9.0	0.7	9.3
在庫	-23.6	-12.3	-12.5	-4.1	-8.8	-15.3
雇用者数	-10.9	-4.7	-14.3	-1.0	-4.4	0.0

6ヵ月先の見通し)

	11月	10月	9月	8月	7月	6月
業況	29.9	36.0	34.5	23.7	29.2	34.8
仕入価格	39.1	35.8	41.1	25.8	26.4	29.6
販売価格	20.9	20.2	20.5	9.3	7.7	7.1
新規受注	28.7	39.0	31.9	27.4	29.1	38.2
出荷	26.0	26.5	21.2	28.0	29.8	29.1
在庫	-10.0	-0.9	-0.9	5.2	-3.3	3.1
雇用者数	10.9	9.4	7.1	-6.1	1.1	-2.0

同指標はゼロが景況の分岐を示す

22 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

10月米輸入物価指数(前月比) 0.5% (予想 0.4%・前回 0.2%)
 前回発表の0.1%から0.2%に修正

10月米輸入物価指数(前年比) -0.2% (予想 -0.3%・前回 -1.0%)
 前回発表の-1.1%から-1.0%に修正



出所：Bloomberg

指標結果データ

◀米輸出入物価▶

	10月	9月	8月	7月	6月	5月
全輸入	0.5	0.2	-0.2	0.1	0.7	1.2
石油	7.5	1.6	-4.1	-3.1	11.4	13.9
非石油	-0.1	0.0	0.1	0.5	-0.3	0.4
食品・飲料等	-0.6	0.4	1.4	3.1	-0.6	0.3
資本財	-0.1	0.2	0.0	-0.1	-0.2	0.0
自動車・部品	0.3	0.1	-0.1	-0.2	0.0	0.3
消費財	0.1	0.0	-0.2	-0.1	-0.2	0.2

	10月	9月	8月	7月	6月	5月
全輸出	0.2	0.3	-0.8	0.2	0.8	1.1
農業	0.4	-1.1	-3.5	-0.3	2.5	3.0
非農業	0.2	0.4	-0.5	0.3	0.5	1.0
食品・飲料等	0.3	-0.9	-3.7	-0.5	2.6	3.0
資本財	-0.1	0.1	-0.1	-0.2	0.0	0.0
自動車・部品	0.2	0.1	-0.5	0.0	0.1	0.0
消費財	-0.7	0.2	-0.2	0.5	-0.4	0.2

10月の米輸入物価指数は、前月比+0.5%と2ヵ月連続のプラスとなった。前年同月比では-0.2%下落した。前月に続き、原油安の傾向が一旦収まったことを背景に燃料価格が全体を押し上げる結果となった。石油・石油製品は、前月比+7.5%、前年同月比は+4.5%。石油以外では前月比-0.1%、前年同月比では-0.4%となった。品目別では、原油が+7.0%、自動車・同部品が+0.3%、食品は-0.7%。国・地域別では、中南米からの輸入価格は+0.7%、カナダが+1.4%、EUが+0.2%、日本が+0.2%、中国は横ばいだった。輸出物価は、前月比+0.2%、前年同月比では-1.1%となった。農産物が+0.4%、農産物以外では+0.2%。自動車・同部品は+0.2%。



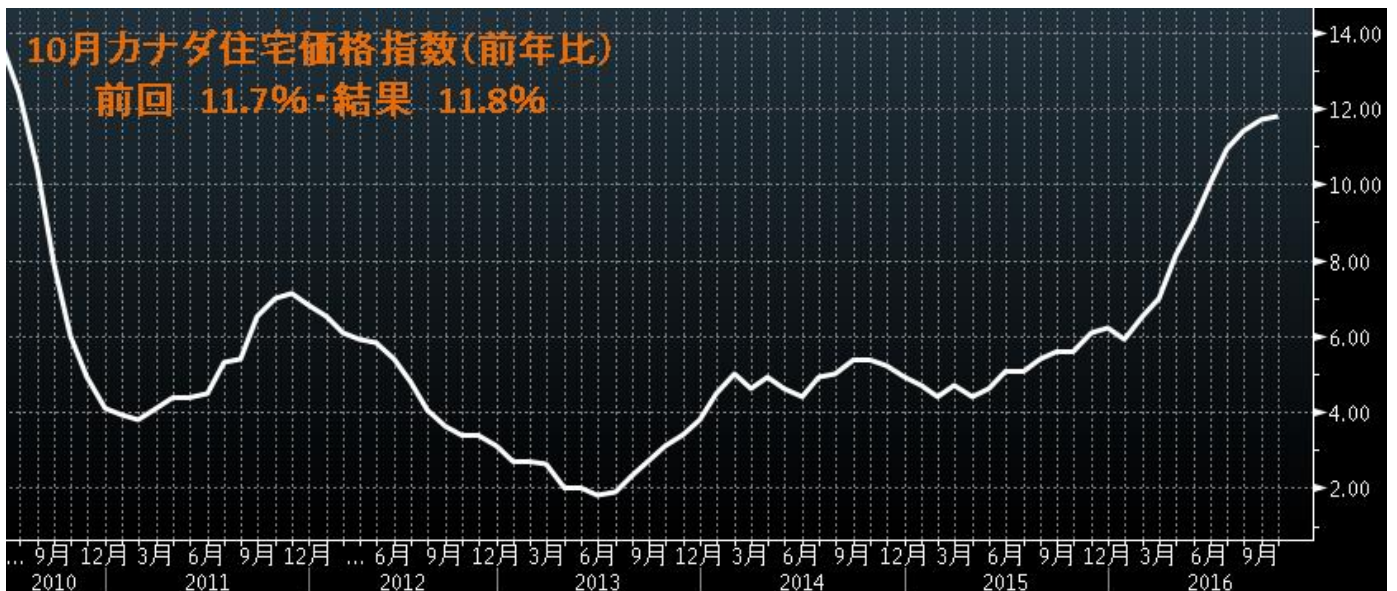
出所: Net Dania

22:30

◀ 経済指標の結果 ▶

10月カナダ住宅価格指数(前月比) 0.3% (前回 0.8%)

10月カナダ住宅価格指数(前年比) 11.8% (前回 11.7%)



出所: Bloomberg

22:50

◀ 要人発言 ▶

ローゼングレン・ボストン連銀総裁

- ・「急速過ぎる利上げは回復を脅かしかねない」
- ・「金利がこれほど低い中で、財政政策の活用は合理的」

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

10月カナダ中古住宅販売件数(前月比) 2.4% (前回 0.8%)



出所 : Bloomberg

23 : 10

◀ 要人発言 ▶

タルーロ FRB 理事

・「利上げの議論は慎重にすることが妥当だ」

0 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

9月米企業在庫(前月比) 0.1% (予想 0.2%・前回 0.2%)



出所 : Bloomberg

指標結果データ

＜米企業在庫＞

	9月	8月	7月	6月	5月	4月	前年同月比
企業在庫	0.1	0.2	0.0	-0.2	0.2	0.1	0.6
製造業	0.0	0.1	0.2	-0.0	-0.1	-0.1	-1.9
小売業	0.2	0.6	-0.2	-0.4	0.5	-0.1	3.9
卸売業	0.1	-0.1	-0.1	0.3	0.2	0.7	-0.1

	9月	8月	7月	6月	5月	4月	前年同月比
企業売上	0.7	0.3	-0.3	-1.0	0.3	0.8	0.8
製造業	0.8	0.2	-0.4	-0.6	0.1	0.4	-0.6
小売業	1.0	-0.1	0.1	-0.8	0.1	1.4	2.9
卸売業	0.2	0.7	-0.6	-1.7	0.7	0.8	0.4

9月の米企業在庫は、前月比+0.1%の1兆8187億3100万ドルとなり、市場予想の+0.2%を下回った。前年同月比では+0.6%。製造業は前月比横ばいだったが、小売業、卸売業ともにプラスだった。小売業は+0.2%、卸売業は+0.1%、自動車・同部品を除く小売業は横ばいとなった。小売業では、自動車・同部品が+0.7%、建材・園芸が+0.1%、食品・飲料が+0.2%、家具・家電は-0.6%、総合小売りは-0.6%、服飾は-0.1%だった。企業売上高は、前月比+0.7%の1兆3146億4800万ドルと、昨年6月以来の高水準となり、前年同月比では+0.8%だった。業種別では、小売業が+1.0%、卸売業が+0.2%、製造業が+0.8%。在庫高は売上高の1.38ヵ月に相当し、前月から0.01ヵ月分のマイナスとなった。

1:05

ドル/円は6月3日以来の109円台乗せ。

＜欧州のポイント＞

7-9月期のドイツの経済成長率は+0.2%（前期+0.4%）に低下し、1年ぶりの低成長に落ち込んだ。イタリアとフランスはプラス成長に改善した。ユーロ圏全体では、速報と同じ前期比+0.3%となり、4-6月期と同じ拡大ペースを維持した。エコノミスト予想では、ユーロ圏経済が2017年上期まで現在の拡大ペースを維持し、その後若干加速して+0.4%成長になるとしている。

＜欧州株式市場＞

欧州株式市場は、原油価格の値上がりなどが好感され、主要株価は堅調な動きとなった。英FT100指数は、英ポンドが対ドルで下落したことで、輸出企業の収益改善期待が広がったことも支援材料となった。



出所：Bloomberg

4:20

◀ 要人発言 ▶

フィッシャーFRB 副議長～講演で米経済や金融政策について言及せず

- ・「フラッシュクラッシュは今後、もっと頻繁に発生し得る」
- ・「流動性は十分であると、大半の指標が示唆している」
- ・「債券利回りは、まだ心配な動きではない」

4:40

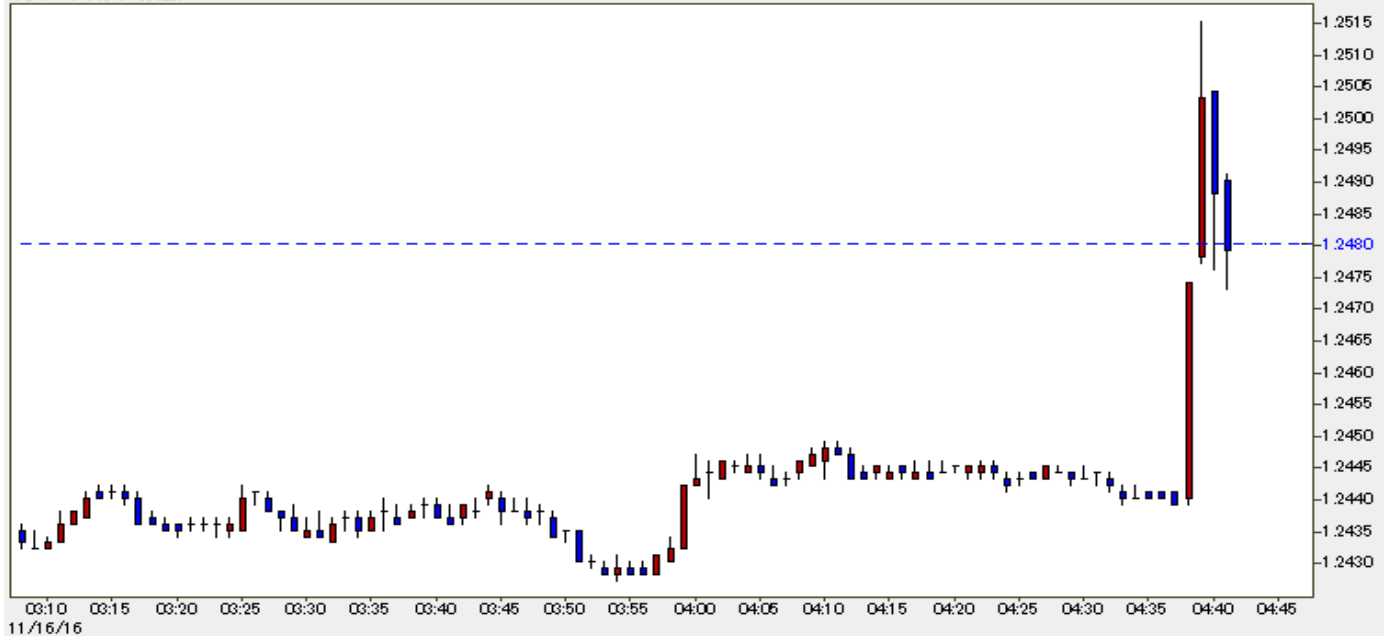
英裁判官が「BREXITは最大2年遅れる可能性」との見解～報道
報道を受けてポンドが上昇

ポンド-円, 1分足, #100



出所: Net Dania

ポンド-米ドル, 1分足, #100

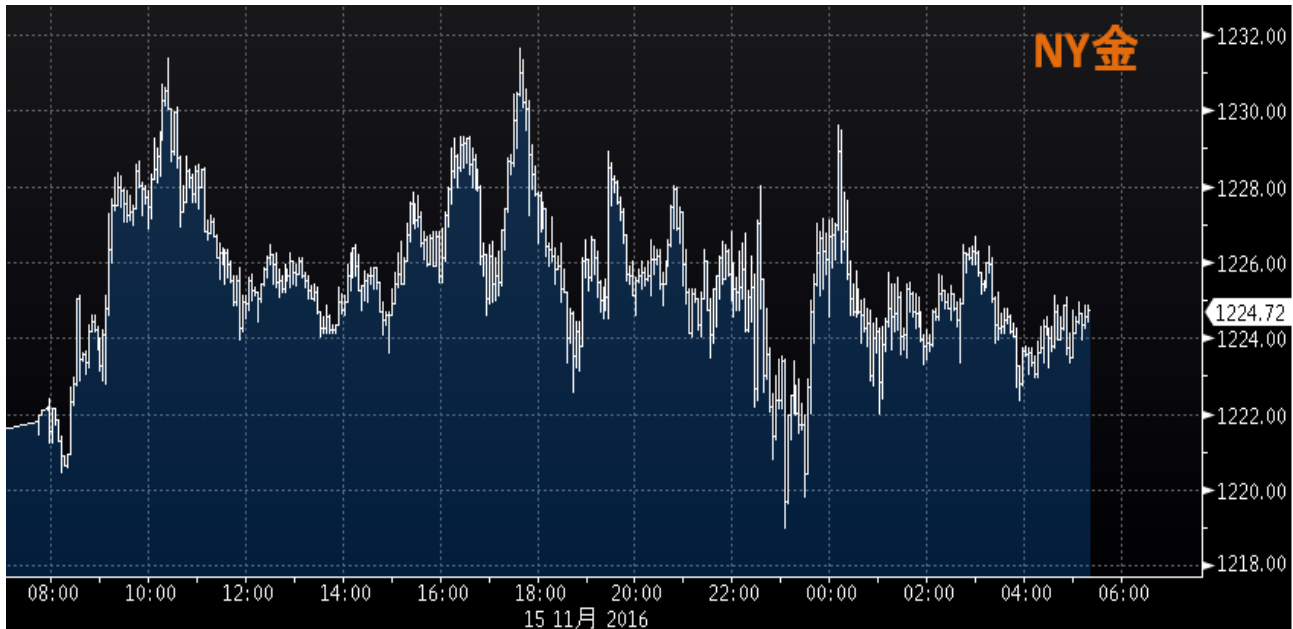


出所: Net Dania

◀ NY 金市場 ▶

NY 金は、中心限月が前日比 2.80 ドル高の 1 オンス=1224.50 ドルで取引を終了した。

NY 金は、前日までの続落の反動で、買い戻しが優勢となった。また、ドルがユーロなどに対して伸び悩んだことも下支え要因となった。



出所：Bloomberg

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、中心限月が前日比 2.49 ドル高の 1 バレル=45.81 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、原油の減産に向けた OPEC 加盟国間の協議が進み、今月末の定時総会で合意するとの期待が再び高まり、買いが膨らんだ。終値ベースでは、2 週間ぶりの高値となった。



出所：Bloomberg

《米株式市場》

米株式市場は、ダウ平均が前日まで3営業日連続で最高値を更新したため、一旦利益を確定するための売りが先行した。しかし、終盤にはプラス圏まで上昇し、4営業日連続で終値ベースの最高値を更新した。一方、前日下落したナスダックは、序盤から堅調な動きが続いた。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、米経済指標が市場予想を上回る結果となったことから、米国の12月の利上げ期待も高まり、ドルは堅調な動きとなった。ドル/円は、一時109.34まで上昇し、6月2日以来の高値を付ける動きとなった。また、原油や株価が堅調な動きとなったことから、クロス円も堅調な動きとなり、ユーロ/円は7月22日以来の高値を付けた。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。